

(1) 令和4年度実績について

1 委託事業

(1) 支援拠点機関の設置（平成20年4月1日付け指定）

松山リハビリテーション病院を支援拠点機関に指定し、高次脳機能障害者への相談指・支援、医療機関等への情報提供、研修会の実施等を行った。

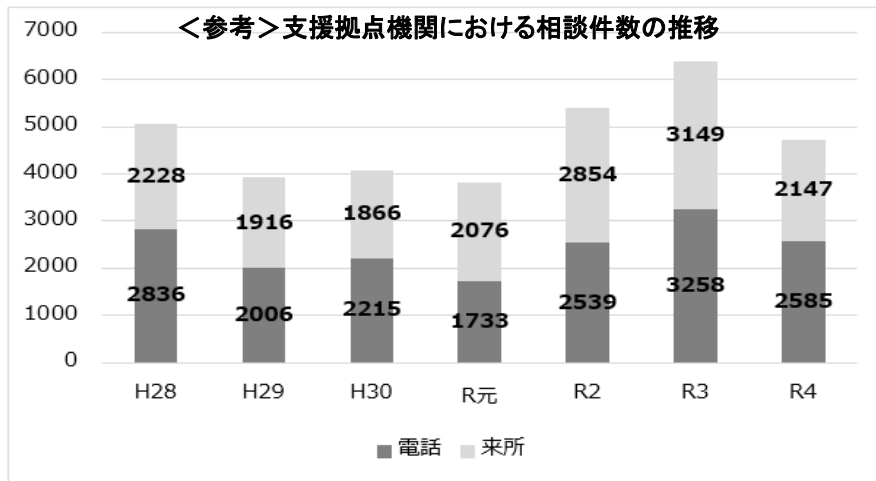
なお、支援拠点機関の設置及び運営は、県の委託事業として実施した。

○支援拠点機関の主な役割

- ・高次脳機能障害の確定診断
- ・相談指導
- ・リハビリ症例検討
- ・医療機関への情報提供・連携強化
- ・全国連絡協議会等への参加
- ・講習会の開催

○令和4年度相談支援実績（R4.4.1～5.3.31）

名称	相談件数（延べ）		リハ訓練数 （実人数）	訪問 件数	（参考）R3 相談件数（延べ）		（参考）R3 リハ訓練数 （実人数）	（参考） R3 訪問 件数
	来所・来院	電話			来所・来院	電話		
松山リハビリテーション病院	2,147	2,585	119	107	3,149	3,258	92	138



(2) 相談支援コーディネーターの配置（平成20年4月1日付け配置）

支援拠点機関に、相談支援コーディネーターとして木戸保秀医師・菅隆一作業療法士・坂本和香奈医療ソーシャルワーカー・大久保濤医療ソーシャルワーカーを配置し、相談支援、医療、福祉サービスの情報提供、関係機関等に対する助言・指導を行った。

なお、相談支援コーディネーターの配置は、県の委託事業として実施した。

○相談支援コーディネーターの主な任務

- ・市町等への指導
- ・相談指導
- ・高次脳機能障害者への訓練・支援プログラムの作成
- ・全国連絡協議会等への参加

(3) 拠点機関主催の研修会等

■小児高次脳機能障害支援特別研修会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和4年8月25日（木）13：30～16：20
- ・開催場所 オンライン開催
- ・参加者 愛媛県内の小児・学童期の支援者（保育士、教諭、指導員等） 27名
- ・内容 ●活動報告
松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 坂本 和香奈
●特別講演
愛媛大学大学院医学系研究科
地域健康システム看護学講座 教授 西嶋 真理子 先生

■愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」
- ・開催年月日 令和4年11月12日（土） 13：00～16：15
- ・開催場所 オンライン開催（当事者様・ご家族様に限り、ご希望に応じて当日松山リハビリテーション病院にてオンライン配信の視聴が可能。人数制限あり。）
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 83名
- ・内容 ●活動報告
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 玉置 孝美 氏
●特別講演
東京都リハビリテーション病院 武原 格 先生
●自動車運転再開支援における取り組み・活動報告
第一自動車教習所 宗像 隆司 氏
伊予病院 作業療法士 成田 郁美 氏
松山リハビリテーション病院 作業療法士 平野 智彦

■高次脳機能障害支援拠点機関講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和4年7月16日（土）13：30～16：00
- ・開催場所 オンライン開催（新型コロナ感染拡大防止のため）
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 81名
- ・内容 ●活動報告
松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 坂本 和香奈
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 玉置 孝美 氏
●特別講演
総合南東北病院 神経心理学研究部門 科長 佐藤 睦子 先生
●絵本『起き上がり小法師』読み聞かせ
●パネルディスカッション

■高次脳機能障害支援担当者会議

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和4年6月6日（月）14：00～16：00
- ・開催場所 松山リハビリテーション病院 9階大会議室
- ・参加者 保健所、相談支援協力機関等の担当者等 26名
- ・内容 ●講演
十全ユリノキ病院 公認心理士 小森 憲治郎 先生
●グループワーク

■臨床高次脳機能研究会えひめ

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和5年1月7日（土）14：30～16：00
- ・開催場所 （ハイブリッド開催）愛媛県生涯学習センター
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等 121名
- ・内容 ●特別講演
金沢大学医薬保健研究域医学系研究科
脳・脊髄機能制御学 中田 光俊 先生

(4) 相談支援協力機関の設置（平成21年2月6日付け指定）

県保健所の圏域単位に相談支援協力機関を設置し、高次脳機能障害者及び家族に対する相談支援及び地域支援ネットワークの構築を図った。

なお、相談支援協力機関の設置及び運営については、県の委託事業として実施した。

○設置数 6 機関

- ・（宇摩圏域）H I T O 病院
- ・（新居浜・西条圏域）済生会西条病院
- ・（今治圏域）片木脳神経外科
- ・（松山圏域）伊予病院
- ・（八幡浜・大洲圏域）大洲中央病院
- ・（宇和島圏域）市立宇和島病院

○相談支援協力機関の主な役割

- ・相談指導
- ・関係機関への情報提供・助言

○令和4年度相談支援実績（R4.4.1～5.3.31）

名 称	相談件数（延べ）		リハ訓練数 （実人数）	（参考）R3相談件数（延べ）		（参考）R3 リハ訓練数 （実人数）
	来所・来院	電話		来所・来院	電話	
H I T O 病院	13	2	12	6	2	6
済生会西条病院	10	7	2	4	7	5
片木脳神経外科	4	0	0	1	0	0
伊予病院	34	14	24	42	13	13
大洲中央病院	2	6	17	8	4	1
市立宇和島病院	8	20	72	1	3	39
計	71	49	127	62	29	64

2 県実施事業

(1) 高次脳機能障害支援連絡協議会

○会長：首藤 貴（県医師会）

委員 19 名

- ・支援拠点機関
- ・相談支援協力機関（6機関）
- ・関係機関・団体（家族会「あい」、福祉サービス事業者、障害者職業センター
社会福祉士、理学療法士、作業療法士、臨床心理士、言語聴覚士）
- ・精神科医師（愛媛大学医学部）
- ・リハビリテーション科医師（県医師会）
- ・行政関係者（心と体の健康センター、保健所、松山市）

※協議会開催なし

(2) 四国ブロック会議（徳島県）（参加）

- ・書面開催
- ・協議事項 各県における高次脳機能支援に関する課題等
病識の無い患者の受診支援と家族のサポートについて

(3) 普及啓発事業

○各保健所主催の研修会、連絡会等（別紙参照）

保健所名	開催日	参加者数	
四国中央保健所	R4. 6. 21～R4. 6. 29		パネル展示及び普及啓発資料の配布
	R5. 2. 27	15	令和4年度高次脳機能障害支援者普及事業研修会
西条保健所	R4. 7. 19	10	高次脳機能障害担当者連絡会
	随時		相談対応（電話）
	随時		研修・担当者会への参加
今治保健所	R4. 7. 1	37	支援者研修会
	R4. 10. 28	5	高次脳機能障害者及び家族交流会（打合せ）
	R4. 11. 4	5	普及啓発（リーフレットの配布 1,380部）
	R4. 12. 28	5	高次脳機能障害者及び家族交流会
中予保健所	R4. 7. 7	9	松山圏域高次脳機能障害障害担当者連絡会議
	R4. 12. 23	44	担当者研修会（WEB開催）
	R4. 12. 23	22	支援者連絡会（WEB開催）
	随時		普及啓発資料を用いた啓発活動（約700名）
	随時		研修会、担当者会への参加
八幡浜保健所	R4. 5. 26	7	拠点機関及び相談支援協力機関との打合せ
	R5. 1. 23～R5. 2. 10		高次脳機能障害者実態調査
	随時		各種研修会、担当者会への参加、普及啓発
宇和島保健所	R4. 9. 13	18	高次脳機能障害支援関係者連絡会
	R5. 2. 9	76	高次脳機能障害支援事業研修会
	随時		家族会参加支援・ケア会議・担当者会・他機関主催の研修会参加、普及啓発

(4) 患者訪問相談

保健所保健師等による相談・訪問の実施

○令和3・4年度相談支援実績（各年度4.1～3.31）

	R4年度								R3年度							
	来所相談		電話相談		訪問指導		ケア会議		来所相談		電話相談		訪問指導		ケア会議	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
四国中央	1	1	3	7	0	0	0	0	1	3	3	19	0	0	1	2
西条	0	0	1	4	0	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	0
今治	0	0	4	9	1	1	0	0	1	3	2	11	1	2	0	0
中予	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	3	5	0	0	2	2
八幡浜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	18	0	0	0	0
宇和島	3	3	7	81	8	20	2	3	3	3	6	11	4	9	0	0
計	4	4	15	101	10	22	2	3	5	9	20	66	5	11	3	4

令和4年度高次脳機能障害支援普及事業報告（保健所）

1 事業報告

所属	場所	会の名称	内容	参加人数	
四国中央保健所	R4. 6. 21～29	四国中央市 市民交流棟1階	普及啓発（パネル展）	パネル展示および普及啓発用資料の配布	
	R5. 2. 27	四国中央市福祉会館 4階 多目的ホール	令和4年度高次脳機能障害支援普及事業研修会	情報提供、講話、質疑応答	15
西条保健所	R4. 7. 19	東予地方局	高次脳機能障害担当者連絡会	各機関の支援状況の共有	10
	随時	管内	相談対応	個別支援（電話相談）	
	随時	県内	研修・担当者会参加	<ul style="list-style-type: none"> ・高次脳機能障害支援担当者会（R4. 6. 6） ・支援拠点講習会（R4. 7. 16） ・日本損害保険協会助成事業リハビリテーション講習会（R4. 11. 12） ・講演会「高次脳機能障害と就労支援」（R4. 1. 28） 	
今治保健所	R4. 7. 1	今治支局	支援者研修会	話題提供・意見交換 「高次脳機能障害者への地域支援」 松山リハビリテーション病院 坂本和香奈 「高次脳機能障害の診断によるメリット・デメリット」 片木脳神経外科 石川 王泰・大澤理香	37
	R4. 11. 4		普及啓発	リーフレットを作成し、医療機関や相談窓口等に配布 ・高次脳機能障害の症状、生活の工夫、相談窓口について	1380（部）
	R4. 12. 28		高次脳機能障害者及び家族交流会	お便りとリーフレットの発行 ※新型コロナウイルス感染症の感染防止対策により交流会は中止	当事者2 家族3
中予保健所	R4. 7. 7	中予地方局	松山圏域高次脳機能障害担当者連携会議	<ul style="list-style-type: none"> ・退院時連絡票を用いたケース連絡及び経過報告 ・支援中の事例報告 	9
	R4. 12. 23	中予地方局（Web開催）	担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・事務局説明 ・講演 「高次脳機能障害の症状と関わり方」 「高次脳機能障害の制度と支援について」 講師：松山リハビリテーション病院 菅隆一氏（OT）、坂本和香奈氏（MSW）	44
	通年	松山圏域	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・H24年度担当者会作成の媒体（3種類）及び保健所作成の資料を用い、市町の協力を得て既存の研修会や会議を活用した普及啓発活動を実施 	約700
	随時			<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会、担当者会参加 ・愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会参加 ・愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」定例会参加（R5. 2. 19今治定例会参加） ・個別ケース支援 	

所属		場所	会の名称	内容	参加人数
八幡浜保健所	R4. 5. 26	オンライン (zoom)	拠点機関及び相談 支援協力機関との 事業打合せ	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の活動内容について 今年度の事業について 普及啓発について 	7
	R5. 1. 23～ R5. 2. 10		高次機能障害者実 態調査	<p>【調査1】</p> <ul style="list-style-type: none"> 支援（診療）経験の有無 支援（診療）内容 保健所で行っている活動の認識 拠点機関、協力機関の認識 関係機関との連携 など <p>【調査2】</p> <ul style="list-style-type: none"> 入院または通院している患者の状況について 	管内の精神科、心療内科、脳神経外科等を標榜する医療機関 20か所
	随時			<ul style="list-style-type: none"> 各種研修会、担当者会の参加 普及啓発 	
宇和島保健所	R4. 9. 13	オンライン (zoom)	支援関係者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の取組報告 松山リハビリテーション病院 市立宇和島病院 宇和島保健所 意見交換 自動車運転再開支援について 普及啓発資料について 	18
	R5. 2. 9	オンライン (zoom)	支援関係者研修会	<ul style="list-style-type: none"> 講演 「高次脳機能障害って何？～高次脳機能障害の理解と制度～」 講師：松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害相談支援コーディネーター 坂本和香奈 グループワーク ※ねっとWorkジョイ、きら と共催 	86
	随時			<ul style="list-style-type: none"> 個別相談（来所、電話、訪問） ケア会議 各種研修会、担当者会への参加 普及啓発 	

(2) 令和5年度計画及び進捗状況について

1 委託事業

- (1) 支援拠点機関の設置 【継続実施】
- (2) 相談支援コーディネーターの配置 【継続実施】

○令和5年度相談支援実績（R5.4.1～R5.9.30）

名称	相談件数（延べ）		リハ訓練数 （実人数）	訪問 件数
	来所・来院	電話		
松山リハビリテーション病院	1,257	1,975	69	65

(3) 拠点機関主催の研修会等

■高次脳機能障害支援拠点機関講習会

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和5年8月19日（土）14：00～16：40
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者、一般市民等 86名
- ・内容
 - 活動報告
松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 菅 隆一
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」代表 玉置 孝美 氏
 - 特別講演
東京慈恵会医科大学付属 第三病院
リハビリテーション科 診療部長 渡邊 修 先生

■愛媛高次脳機能障害リハビリテーション講習会 【開催予定】

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」
- ・開催年月日 令和5年12月2日（土） 13：30～16：30
- ・開催場所 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者等
- ・内容
 - 特別講演
テーマ：高次脳機能障害における地域支援の考え方
講師：大同病院・だいどうクリニック
高次脳機能障害センター長 深川 和利 先生
 - 基調講演
テーマ：高次脳機能障害の障害理解に伴う精神的支援
講師：南医療生活協同組合 かなめ病院 医療介護相談室
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 藤山 美由紀 氏
 - 当事者体験発表
発表：愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 小笠原 栄 氏

■臨床高次脳機能研究会えひめ 【開催予定】

- ・主催 支援拠点機関（松山リハビリテーション病院）
- ・開催年月日 令和6年2月24日（土）
- ・開催形態 テクノプラザ愛媛 テクノホール
- ・参加者 当事者、家族、保健・医療・福祉関係者、一般市民等
- ・内容
 - 特別講演
講師：東海大学医学部付属病院
リハビリテーション科 診療科長 水野 勝広 先生

(4) 相談支援協力機関の設置

【継続実施】

○令和5年度相談支援実績 (R5.4.1~5.9.30)

所属	来所・来院	電話相談	リハビリ訓練
	延人数	延人数	実人数
H I T O病院	9	1	8
済生会西条病院	1	0	5
片木脳神経外科	5	0	1
伊予病院	12	2	17
大洲中央病院	2	2	8
市立宇和島病院	0	2	20
合計	29	5	59

2 県実施事業

(1) 高次脳機能障害支援連絡協議会の設置・開催 【継続実施】

令5年度愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会

日時：令和5年11月17日（金）18：30～20：00

場所：愛媛県庁第1別館 3階 第3会議室

- 議題 (1) 令和5年度高次脳機能障害支援普及事業の実施状況について
 (2) 各機関の活動状況報告
 (3) 意見交換 等

(2) 四国ブロック会議（香川県）（参加）

・書面開催

・協議事項 各県における高次脳機能支援に関する課題等

(3) 普及啓発事業 【継続実施】

○各保健所主催の研修会、連絡会、ワーキング会議等
別紙のとおり

(4) 患者訪問相談 【継続実施】

保健所保健師等による相談・訪問の実施

○令和5年度相談支援実績 (5.4.1~5.9.30)

2 相談状況

所属	来所相談		電話相談		訪問指導		ケア会議	
	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
四国中央保健所	0	0	1	1	0	0	0	0
西条保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
今治保健所	0	0	3	3	0	0	0	0
中予保健所	0	0	0	0	0	0	0	0
八幡浜保健所	0	0	2	2	0	0	0	0
宇和島保健所	1	4	11	81	6	9	2	2
計	1	4	17	87	6	9	2	2

令和5年度高次脳機能障害支援普及事業計画

所属	開催日	場所	会の名称	内容	参加人数
四国中央保健所	R5. 5. 19	四国中央保健所 2階 土木会議室2	令和5年度高次脳機能 障害担当者会議	活動報告・今後の計画	5
	R5. 12中	書面・電話	高次脳機能障害に関 するニーズ調査	アンケート等による調査	
西条保健所	R5. 12. 1 (予定)	Web開催 (Zoom 利用)	高次脳機能障害支援 者研修会	・事業説明 ・講義 「高次脳機能障害の症状と関わり方」 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 菅隆一 「高次脳機能障害の理解と支援」 松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 坂本和香奈	
	随時	東予地方局	普及啓発	・ロビー展を活用したリーフレット配布	
	随時	県内		・個別支援 (訪問・面接・電話による相 談) ・各研修会、担当者会参加 ・あいの会定例会参加	
今治保健所	R5. 8. 1	正光会今治病院 2F ホール	高次脳機能障害支援 者研修会	話題提供・意見交換 「松山リハビリテーション病院 高次脳機 能障害支援室活動報告」 松山リハビリテーション病院 大久保 滯 「高次脳機能障害者の経済支援について」 片木脳神経外科 大澤 理香	26
	R5. 10. 12	今治支局	高次脳機能障害社及 び家族交流会	今年度事業打合せ	3
	R5. 11. 20	今治市総合福祉 センター愛らん ど今治		座談会・情報交換 ・レクリエーション ・災害時の対策について	
	R6. 2. 20			座談会・情報交換 ・レクリエーション	
	検討中		普及啓発	イベント等を活用したリーフレットの配布	
	随時		個別支援及び関係機 関連絡等	・個別相談 ・ケア会議 ・担当者会及び研修会への出席等	

所属	開催日	場所	会の名称	内容	参加人数
中予保健所	R5. 7. 3	中予地方局	支援者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ○事務局説明 「高次脳機能障害支援普及事業の概要説明及び各機関の普及啓発状況について」 ○活動報告 ・「高次脳機能障害支援拠点機関報告」 松山リハビリテーション病院 相談支援コーディネーター 大久保 濤 氏 ・「松山圏域相談支援協力機関 伊予病院の活動について」 伊予病院 看護師長 請田 直美 氏 ・「高次脳機能障がい者を支援する会あい活動報告」 代表 玉置 孝美 氏 ○意見交換 ・各機関の普及啓発活動実施状況について ・平成24年度作成普及啓発媒体の見直しについて 	23
	R5. 10. 23～ R5. 11. 2	松山圏域の回復期病棟がある医療機関（6箇所）	松山圏域の回復期病棟がある病院へのヒアリング（松山圏域高次脳機能障害担当者連携会議）	<ul style="list-style-type: none"> ・10/23おおぞら病院、道後温泉病院 ・10/27愛媛十全医療学院附属病院 ・10/30天山病院 ・11/2平成脳外科病院、福角病院 	延べ （中予保健所及び各医療機関） 30名
	令和6年1月下旬予定	中予地方局（Web開催）	担当者研修会	<ul style="list-style-type: none"> （企画進行中） ○事務局説明 ○講演「高次脳機能障害と認知症」 ○事例発表 	未定
	通年	松山圏域	普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の会議や研修を活用、研修等の場に出向いた普及啓発活動の実施 ・普及啓発媒体の見直し 	
	随時			<ul style="list-style-type: none"> ・各種研修会、担当者会参加 ・愛媛県高次脳機能障害支援連絡協議会参加 ・愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」定例会参加 ・個別ケース支援 	
八幡浜保健所	R5. 6. 27	八幡浜保健所	高次脳機能障害支援普及事業連絡会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 松山リハビリテーション病院 大洲中央病院 愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 ねっとworkジョイ 保健所 ・意見交換 研修会の時期、内容、講師等 その他、各機関と共有したいことや保健所への要望等 	32
	R5. 11. 9	八幡浜保健所	高次脳機能障害者支援研修会	<ul style="list-style-type: none"> ・活動報告 大洲中央病院 愛媛高次脳機能障がい者を支援する会「あい」 保健所 ・講話「高次脳機能障害と自動車運転再開支援について」 講師：松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害支援室 	34
	随時			<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援 ・各種研修会、担当者会の参加 ・普及啓発 	

所属	開催日	場所	会の名称	内容	参加人数
宇和島保健所	R5. 9. 7	宇和島保健所	支援関係者連絡会	<ul style="list-style-type: none"> 各機関の取組報告 松山リハビリテーション病院 市立宇和島病院 宇和島保健所 意見交換 各機関の取組み状況について 普及啓発資料について 	27
	R5. 9. 9	障害者支援施設 ライフまつの	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 施設内研修会にて施設職員に対して「高次脳機能障害について」講師として講話 	約30
	R5. 10. 21	宇和島看護専門学校	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 宇和島看護専門学校学校祭における普及啓発資料の展示 	約50
	R5. 10. 20～ 10. 30	南予地方局 1階ロビー	普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> 第70回精神保健福祉普及運動における普及啓発資料の展示 	約150
	R6. 2 (未定)	宇和島保健所	支援関係者研修会	<ul style="list-style-type: none"> 講話：検討中 講師：松山リハビリテーション病院 高次脳機能障害相談支援コーディネーター 坂本和香奈 ※ねっとWorkジョイ、きらと共催 	
	随時			<ul style="list-style-type: none"> 個別相談（来所、電話、訪問） ケア会議 各種研修会、担当者会への参加 関係機関との連絡 	

(3) 意見交換等

協議事項			
1	玉置委員 (愛媛高次脳機能障がい者を支援する会あい)	○高次脳機能障害支援法制定時における愛媛県の支援普及事業の計画等について (提案の背景等) 高次脳機能障害支援法が来年あたり制定される状況であることから、県においても新たな支援事業が始まると思われるが、今後、事業実施をどうするか施策等あればお聞きしたい。また事前に協議会にて協議することがあればお知らせいただきたい。	事務局回答
2		○支援普及の進め方について (提案の背景等) ①県における高次脳機能障がいの人数調査ができていないが、今後の効率的な推進に向け、調査は可能か。 ②支援コーディネーターの人数を増やす計画はあるか。 支援コーディネーターを増やすための研修はどのように考えているか	事務局及び松山リハビリテーション病院回答
意見			
1	玉置委員 (愛媛高次脳機能障がい者を支援する会あい)	今後取り組んでいただきたい支援・普及事業について 1 精神領域の専門治療や連携 (精神全般やてんかん治療、てんかんによる精神障害等の治療も可能な精神領域専門医の養成が必要) 2 障害特性に合った障害福祉サービスの充実 切れ目のない障害福祉サービスの構築、公にて全体を指揮する体制が必要 (特性に特化した生活、職能訓練・グループホームや就労福祉事業所ジョブサポート等の連携、構築) 3 環境整備の充実 (高次脳機能障がいの治療や共生支援の環境づくり) 4 高次脳機能障がいの支援普及の充実 (認知や理解の促進 多様な症状多様な対応の充実) 特に日常において当事者に関わりのない医療、福祉、保健従事者や一般社会への認知や理解の推進	
質問			
1	日高委員 (愛媛障害者職業センター)	当センターでは、精神障害、発達障害、高次脳機能障害者への支援を重点目標として定めている。 それぞれの機関、団体において、新規就職、再就職、復職、就労継続に係る相談事例や対応事例があればお聞かせいただきたい。	
2	三瀬委員 (愛媛言語聴覚士会)	高次脳機能障がい者(特に脳卒中後)の方に対する、愛媛県における自動車運転再開支援の状況について知りたい。	松山リハビリテーション病院、作業療法士会 回答
3	玉置委員 (愛媛高次脳機能障がい者を支援する会あい)	香川県に高次脳機能障害支援センターがオープンした。 愛媛県においても設置は可能か。設置が難しい状況であれば代替案はあるか。 また、今後の支援体制についてもお知らせいただきたい。	事務局回答
4	武知委員(中予保健所)	愛媛県の高次脳機能障害者の推計値は平成19年度以降不明であるため、現状を踏まえた取組が重要であると考えるが、調査する予定はあるか。	事務局回答

情報提供

1	三瀬委員 (愛媛言語聴覚士会)	令和5年度愛媛県失語症向け意思疎通支援者養成研修について(案内)	別紙参照
2	事務局	国立障害者リハビリテーションセンターのHPにおいて、「高次脳機能障害の障害特性に応じた支援者養成研修カリキュラム及びテキストの開発のための研究」の成果物として、研修動画・テキスト等が公表されています。 http://www.rehab.go.jp/brain_fukyu/data/results/r2-4/	

※内容は簡略化しています

令和5年度高次脳機能障害支援連絡協議会
情報提供

一社) 愛媛県言語聴覚士会

一社) 愛媛県言語聴覚士会(以下、当会)が愛媛県より委託を受け実施をしている失語症者向け意思疎通支援者養成講習会について情報提供をさせていただきます。

本講習会について既にご存知の方の方もおられると思いますが、下記に本研修の案内を記載させていただいております。

◆愛媛県失語症向け意思疎通支援者養成講習会とは

愛媛県では、失語症についての理解を深め、失語症者の自立と社会参加を図るため、「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」を令和2年度より開始しております。

本講習会では国の定めるカリキュラムに沿って40時間の講義や実習が行われます。

本講習会の目的は、

- 1)失語症の人の日常生活や支援のあり方を理解する
- 2)失語症の人と1対1のコミュニケーションを行うための技術を身につける
- 3)失語症の人の日常生活上の外出(買い物、役所での手続き等)に同行し、意思疎通を支援するための最低限必要な知識及び技術を習得することです。

講習会修了者は、愛媛県登録者名簿に登録され、失語症者の意思疎通支援に携わることになります。

令和2年度から本講習会は開始となり今年度も全9日間にわたる講習会カリキュラムを開催しております。新型コロナウイルスの影響もありましたが、養成された県内の失語症者向け意思疎通支援者数は25名となりました。しかしながら、他の都道府県と比べるとまだまだ少ない状況であり、支援者の所在地域に偏りがあります(特に南予地域が非常に少ない)。次年度以降も本講習会は開催予定となっておりますので、協議会の皆様にも周知とご協力をいただければ幸いです。

なお、今後本講習会で養成された支援者を失語症の方のもとに派遣していくために、愛媛県・各市町と連携を図っていきたいと考えております。実態調査やニーズ調査等で協議会の皆様にもご迷惑をおかけすると存じますが、何卒よろしく願いいたします。

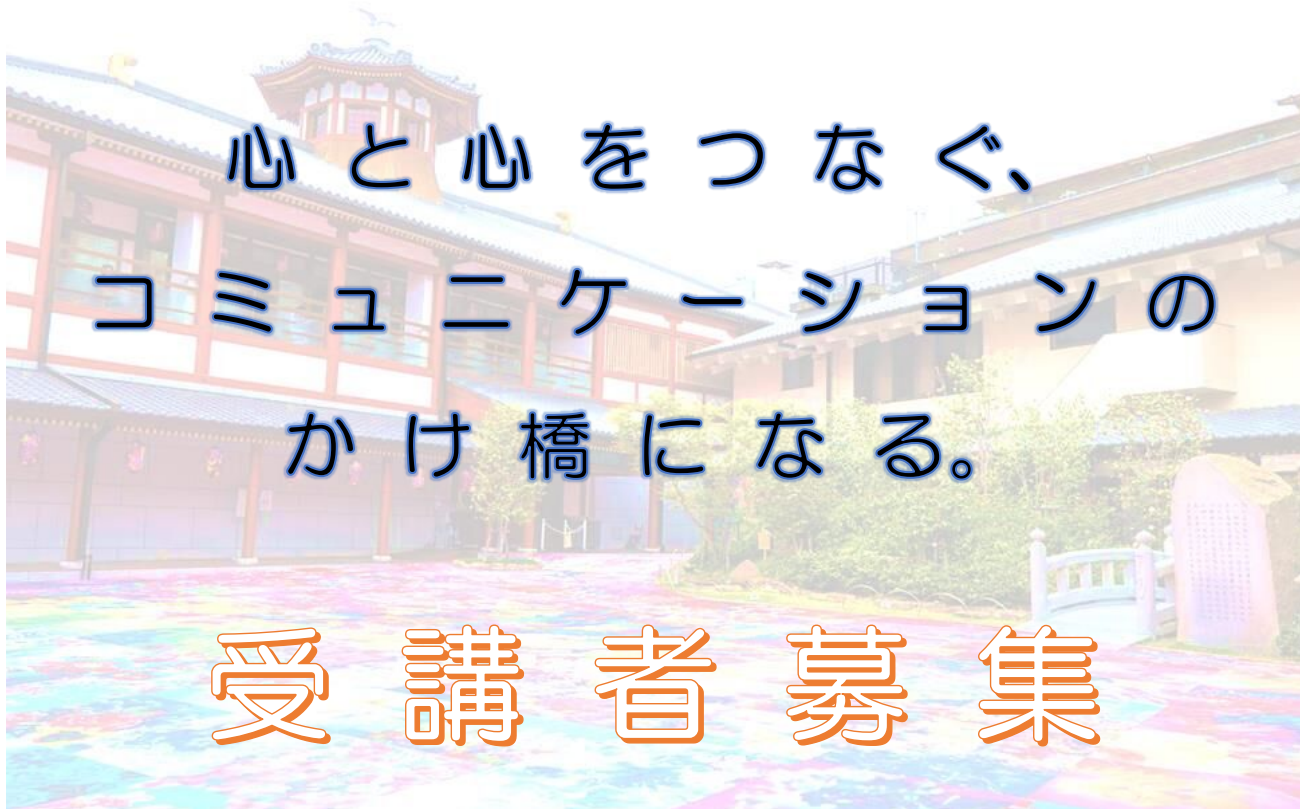
別紙にて今年度の失語症者向け意思疎通支援者養成講習会募集に関する情報を共有させていただきます。

何卒よろしく願いいたします。

令和5年度

愛媛県 失語症者向け

意思疎通支援者養成研修



講座

全22回 40時間

(令和5年9月9日～令和6年1月13日(予定))

応募資格

- (1) 県内に居住又は勤務する者
- (2) 令和5年4月1日現在、満18歳以上である者
- (3) 修了後、失語症者向け意思疎通支援に関わることができる者

会場

松山市内公共施設/西条市内公共施設/新居浜市内公共施設
愛媛県立美術館/西条市立郷土博物館/あかがねミュージアム(予定)

受講料

無料

定員

15名

ただし、実習に必要な教材費、交通費等は実費負担になります。

【応募締切】9月3日(日) 17時必着

問い合わせ先 一般社団法人愛媛県言語聴覚士会 摂食嚥下障害・高次脳機能障害支援委員会
失語症者向け意思疎通支援事業担当 E-mail:ehime.st.shitsugo@gmail.com

受講申込方法

研修のお申込みは、郵送、メール、FAXにて承ります。
愛媛県言語聴覚士会のホームページから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記入のうえ、右記のいずれかにご応募ください。

1) 郵送

〒791-1111 愛媛県松山市高井町1211番地
松山リハビリテーション病院 言語療法科内
一般社団法人 愛媛県言語聴覚士会 事務局宛

2) メール

ehime.st.shitsugo@gmail.com

3) FAX

089-975-1670

一般社団法人 愛媛県言語聴覚士会 事務局宛

受講者の決定

受講の可否の結果につきましては、申込全ての方にメールまたは郵送（申込方法に応じて）にて9月6日（水）までにお知らせいたします。申込者が定員を超えた場合、公平な方法により選考して受講者を決定いたします。

研修日程

【予定】令和5年度 失語症者向け意思疎通支援者養成研修 日程表

日程	開催会場	コマ数	日時（日曜日開催）	時間	教科名	日程	開催会場	コマ数	日時（日曜日開催）	時間	教科名
9/9（土）	オンライン形式	—	第1回	9:30~10:00	開講式・日程説明	10/22（日）	松山市内公共施設 愛媛県美術館	13	第5回	10:00~12:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊤
		1		10:10~12:10	失語症概論			14		13:00~15:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊦
		2		13:00~14:00	失語症のある人の日常生活とニーズ	11/11（土）	西条・新居浜市内 公共施設 西条市立郷土博物館	15	第6回	10:00~12:00	外出同行支援実習㊀
		3		14:10~14:40	意思疎通支援者とは何か			16		13:00~15:30	外出同行支援実習㊁
4	14:50~15:20	意思疎通支援者の心構えと倫理	11/26（日）	新居浜・西条市内 公共施設 あかおミュージアム	17	第7回	10:00~12:00	外出同行支援実習㊂			
5	9:30~10:30	派遣事業と意思疎通支援者の業務			18		13:00~15:30	外出同行支援実習㊃			
9/10（日）	オンライン形式	6	第2回	10:40~11:40	外出同行支援	12/9（土）	松山市内公共施設	19	第8回	10:00~12:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊤
		7		12:30~14:30	コミュニケーション支援技法Ⅰ㊀			20		13:00~15:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊦
		8		14:40~16:40	コミュニケーション支援技法Ⅱ㊁	1/13（土）	松山市内公共施設	21	第9回	10:00~12:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊀
9	10:00~12:00	身体介助の方法	22	13:00~15:30	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊁						
9/23（土）	松山市内公共施設	10	第3回	13:00~15:00	身体介助の方法	—	—	15:10~15:40	—	開講式	
10/7（土）	西条・新居浜市内 公共施設	11		第4回	10:00~12:00	コミュニケーション支援実習Ⅰ㊀	合計：9日間 22コマ 40時間（講義：9コマ12時間 実習：13コマ28時間）				
		12	13:00~15:30		コミュニケーション支援実習Ⅰ㊁						

◆失語症とは

失語症とは脳卒中などによって起こることばの障がいです。失語症の人たちは会話が難しいことで、外出や人との付き合いを諦めてしまうなど、**社会の中で孤立しがち**です。失語症の方々が地域で安心して暮らすためには、失語症に対する正しい知識と会話技術を持った**意思疎通支援者が必要**です。

◆愛媛県失語症者向け意思疎通支援者養成研修とは

愛媛県では、失語症についての理解を深め、失語症者の自立と社会参加を図るため、「失語症者向け意思疎通支援者養成事業」を令和2年度から開始することになりました。本研修では国の定めるカリキュラムに沿って40時間の講義や実習が行われます。

本研修の目的は、

- 1) 失語症者の日常生活や支援のあり方を理解する
- 2) 失語症者と1対1のコミュニケーションを行うための技術を身につける
- 3) 失語症者の日常生活上の外出（買い物、役所での手続き等）に同行し、意思疎通を支援するための最低限必要な知識及び技術を習得することです。

研修修了者は、愛媛県登録者名簿に登録され、失語症者の意思疎通支援に携わることになります。

伊予病院 HP より

当院の自動車運転再開支援について

当院の回復期リハビリテーション病棟に入院中の方で運転再開を希望される方を対象に、安全な運転操作が可能か専門チームが評価・検討を実施しています。

地域性により仕事復帰や日常生活に車が欠かせない、趣味やレジャーを以前のように楽しみたい、という患者さんの自動車運転に対する適正を的確に把握し、評価およびリハビリで訓練することでサポートしています。評価の結果再開が困難な場合は、代替手段をご提案します。



患者さんのニーズ

仕事に復帰するのに車が必要だ

交通手段として車が欠かせない

入院前の生活に戻すためにもまた車を運転したい



運転支援担当チーム



- 評価・検討
- 訓練
- 代替手段の提案

運転支援の条件

- 日常生活動作（ADL）および移動に介助を要さない
- 主治医の許可が出ている

対象者

- 視野障害のある方（眼科受診および改善した方も含む）
- USN（課題難易度により症状に変化が無いか注意）
- 高次脳機能障害のある方
- 運動麻痺のある方
- 障害受容のため利用する方
- 神経症状のある方

ご理解いただきたいこと

- この取り組みは、希望するすべての患者さんの運転再開を実現するものではありません。
- 道路交通法に基づき、安全運転が可能かどうか医学的に評価・判断し助言します。
- 評価の結果によっては、運転免許の返納をお勧めする場合があります。

入院中の運転再開支援の流れ

Step.1 本人とご家族へ支援内容を説明

希望者に道路交通法上の必須要件と支援内容、再開までの流れをご説明します。

Step.2 担当チームによる安全性の検討

道路交通法上の安全が確保できるかを重点的に判断します。

Step.3 神経心理学検査と DS（ドライビングシミュレーター）実施・評価

判断力や注意力を診断する検査と、DS（ドライビングシミュレーター）で高次脳機能を診断します。

Step.4 臨時適正検査（運転免許センター）

検査結果を踏まえて総合的に判断し、次のステップへ移行するか方針を決定します。

Step.5 臨時適正検査（運転免許センター）



実車教習（自動車教習所）

運転再開支援の連携先である「愛媛県運転免許センター」と「第一自動車教習所」へ赴き適正検査と実車教習を受けていただきます。当院のスタッフが同行し、可能ならご家族にも付き添いをお願いしています。

Step.6 運転再開or代替手段の提案

連携シート
基本情報

氏名				年齢		性別	
入院病	病-病名	病-病名		病-病名			
住所							
医師名				科			
主治医	担当医			連絡先			
KP	KP TEL						

<費用>

本人

家族

<運転検査実施の有無> OSL O&V (両方)

特別検査実施の有無 (検査に付する注意書き)

検査について

工程	実施	実施日	実施時間	実施場所	実施者	実施結果	実施内容
上肢							
下肢							
目視							
その他							

<乗込結果表>

項目	乗込	乗込日	乗込時間	乗込場所	乗込者	乗込結果	乗込内容
乗込							
乗込							
乗込							
乗込							

<備考>

連携シート（教習所記録）

<科目> 愛媛自動車運転免許センターの運転科目から

運転検査 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目

運転時間 科目 科目 科目 科目 科目 科目

走行距離 科目 科目 科目 科目 科目 科目

運転内容 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目

運転結果 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目

乗込結果 科目 科目 科目 科目 科目 科目 科目

乗込内容

項目	乗込	乗込日	乗込時間	乗込場所	乗込者	乗込結果	乗込内容
乗込							
乗込							
乗込							
乗込							

<備考欄コメント>

乗込結果

本人

家族

第一自動車教習所との連携シート（患者さん情報と実車教習結果の共有）

外来リハビリ中の運転再開支援の流れ

Step.1 診察時に、運転再開評価を依頼

希望者に道路交通法上の必須要件と支援内容、再開までの流れをご説明します。



Step.2 担当チームによる安全性の検討

過去1年以内に当院の回復期病棟に入院歴のある患者さんは、元担当スタッフが検査を実施します。



Step.3 神経心理学検査と 神経心理学検査とDS実施・評価

判断力や注意力を診断する検査と、DS（ドライビングシミュレーター）で高次脳機能を診断します。



Step.4 評価結果をまとめる

運転免許センターへの意見書を作成します。



Step.5 主治医より結果を説明

運転再開の最終的な判断は運転免許センターが行うため、事前評価としての見解をお伝えします。
再開が困難な場合は、今後の支援についてアドバイスします。

代替手段の案内・紹介

評価の結果、主治医の判断で運転再開は難しいとされた患者さんには、車の運転に代わる代替の移動手段を提案、支援しています。例えば、通勤ルートに公共交通機関を利用する場合、自宅からの道のりを当院のスタッフが同行して、危険箇所の確認や安全なルート選択をアドバイスします。

例えば…

- ・ 自宅から最寄り駅まで距離があるので、駅までご家族に送り迎えをもらう
- ・ 駅が混雑していない時間帯や、手すりの位置、危険箇所などを一緒に確認する



かがわ高次脳機能障害支援センターについて

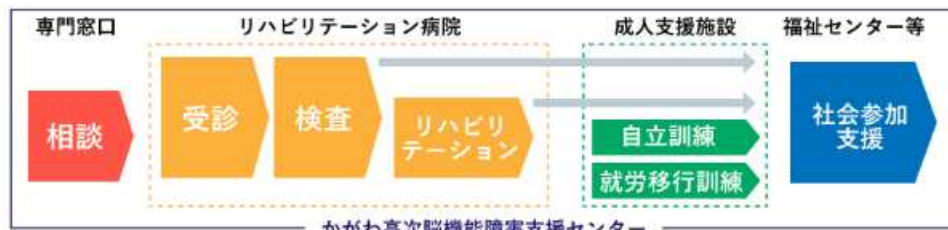
かがわ総合リハビリテーションセンターでは「高次脳機能障害及びその関連障害に対する支援普及事業」を行う支援拠点機関として香川県より指定を受け、高次脳機能障害者の相談支援、ネットワークの充実、啓発事業などを行ってきました。



従来の高次脳機能障害支援の流れ

高次脳機能障害者に対し従来は、福祉センターにおける相談支援、リハビリテーション病院における診断とリハビリ、成人支援施設における自立訓練、就労移行訓練などを別々に取り扱ってきました。

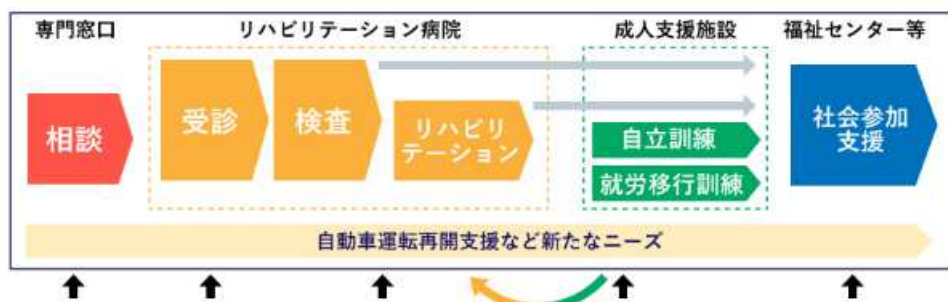
かがわ総合リハビリテーションセンターでは、令和5年11月13日より「かがわ高次脳機能障害支援センター」を設立し、相談支援、病院における診断とリハビリテーション、成人支援施設における自立訓練、就労移行訓練、福祉センターにおける社会参加支援が、一体的となってサービスを提供できるよう組織を整備しました。



新しい高次脳機能障害者の支援の流れ

「かがわ高次脳機能障害支援センター」では、どこからでも支援の流れに入れれたり、流れをスキップしたり、必要に応じて流れをさかのぼることで早期に円滑な社会復帰が可能となることが期待されます。

また、自動車運転再開支援など新たなニーズにも迅速な対応が可能となります。



新しい高次脳機能障害者の支援の流れと利用ニーズ

また、ご本人・ご家族への支援に加え、高次脳機能障害のある方に対する支援体制を整備するために、以下のことを行います。

県内の支援機関へのバックアップ

医療、就労、教育、福祉等、高次脳機能障害のある方に関わっている機関の皆様への相談の受け答えや、助言、支援の提供等行います。

人材育成 普及啓発

人材育成 普及啓発
関係機関の皆さんの支援スキル等の向上のための研修会の開催、講師派遣等を行います。
一般の方々への高次脳機能障害の理解を進めるための研修等を行います

併せて、高次脳機能障害に関連する研究・調査や、高次脳支援に関わる様々な情報の発信を行っています。

かがわ高次脳機能障害支援センターの支援概要

かがわ高次脳機能障害支援センターで行う支援を図にまとめると、以下のようになります。



支援コーディネーター（各種の相談窓口）

